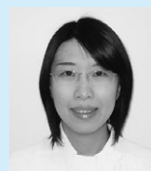


広報ただみ診療所

「歯にまつわるおまじない」

歯科医師 齋藤 さゆり



「健やかな身体に育つように」という願いを込めた言い伝えやおまじないは、古くから多く伝えられています。

“乳歯が抜けたとき、下の歯は屋根の上に投げ、上の歯は縁の下に投げ入れる”、私も幼いころ祖母と一緒に歯を投げた記憶があります。これは続いて生えてくる永久歯が上の歯は下に向かって、下の歯は上に向かって丈夫に伸びますようにというおまじないです。

またその際、「ネズミの歯のように強くなあれ！」などというような願いを掛けることが多いようです。ネズミの歯が後から後から伸び続けることにあやかっただけでしょう。同じようなおまじないは世界各地にあり、お願いする相手も、ネズミはもちろん、小鳥、カラス、すずめ、お月様など多種多様です。また、お日様に向かって投げたり、畑に埋めたり、ネズミの巣穴に入れたり、パンに埋め込み動物に食べさせたり、と方法も様々です。

アメリカでは乳歯が抜けた時その歯を枕の下に置いて眠ると、夜中に「TOOTH FAIRY(歯の妖精)」がこっそりその歯をもらいに来て、お礼にコインやプレゼントを置いていくという言い伝えがあります。子どもたちは妖精が来てコインを置いてくれることを、サンタクロースと同じように楽しみにしています。でも抜けた歯が虫歯だと妖精は現れないので、「ちゃんと歯を磨かないと妖精が来てくれないよ」と言って、親は子に歯磨きを教えるのだそうです。親が子どもの成長を願い、歯を大切にすることを習慣づけるための、ほほえましいお話です。

歯は「食べる」「話す」「笑う」など、幸せな生活を送るための大切な役割を持っています。ですが「乳歯は生え変わるから」と手入れも治療もおろそかになりがちです。健やかな成長のために小さな虫歯もちゃんと治療し、正しい磨き方を教え、仕上げ磨きをしてあげてください。そうすればきっと、歯の妖精が生涯にわたって幸せを運んでくれることでしょう。

地域おこし協力隊として Vol.104

只見町教育振興協力隊 そうくら しおり
宗倉 汐理



只見に来て2回目の夏が来ました。

去年の夏よりも楽しいことが3つ増えました。

一つ目はドライブです。もともと神奈川にいたので運転することはほとんどありませんでしたが、只見に来て頻繁に車を運転するようになりました。四季の移り変わりを感じながらのドライブ。県を跨いだり、福島を巡ったり、只見の通ったことのない道を通ったり。いろいろなところへ行くのも楽しみの一つです。

二つ目はSnowMan。ジャニーズのグループです。この歳になり初めてジャニーズにハマりました。世間では推し活なるものがブームですが、たしかに推しがいると毎日の楽しみが少し増えます。少し前までドライブ中のお供は平成J-POPまたはディズニーの音楽でしたが、最近はもっぱらジャニーズの音楽ばかりです。今度こそライブ当たりますように。

三つ目はコロナも落ち着き、地域交流やイベントが立てやすくなったことです。今月は山村留学生が地域の方のご協力を得て民泊を体験します。今年は地域のお祭りや運動会にも参加できるよう、寮生の只見での思い出が楽しいものになるように頑張ります。

日常に少しの楽しいをどう見つけていくか。コロナで無くなってしまったものも少しずつ復活しています。それだけでなく、全く新しいことに挑戦するのもいいでしょう。自分次第でもあります。楽しいことを生み出すきっかけはいろいろな所に散りばめられていると思います。こうして書き出してみると、「私、今わりと楽しんでるな」と感じています。